

ジュネーブ軍縮会議ハイレベル・セグメント
小笠原軍縮代表部大使ステートメント
(令和4年3月2日)

林外務大臣によるステートメント（ビデオメッセージ）に関し、同メッセージが2月25日に事前録画された後の、ラブロフ外相のステートメントを含む最新の情勢を踏まえて補足の発言を行います。

ウクライナ情勢に関し、今回のロシアによるウクライナ侵略は、力による一方的な現状変更の試みであり、国際秩序の根幹を揺るがす行為です。明白な国際法違反であり、断じて許容できず、厳しく非難します。

ロシアが核抑止部隊の警戒態勢を引き上げたことについては、情勢のさらなる不安定化につながりかねない危険な行動であると認識しています。

核兵器は、いったん使用されると広範囲で多大な惨禍をもたらします。本年1月に発出された、「核戦争の防止及び軍拡競争の回避に関する5核兵器国首脳共同声明」で示された、「核戦争に勝者はなく、決して戦われてはならない」との精神にも反します。プーチン大統領は自らのコミットメントを果たすべきです。

唯一の戦争被爆国として核兵器の非人道性を知る我が国として、二度と核兵器による惨禍を繰り返してはならず、核兵器による威嚇、ましてや使用も決してあってはならないことを改めて強調します。

また、2月27日に北朝鮮が一連の安保理決議に違反して弾道ミサイル1発を発射したことを補足します。この発射を含め、一連の北朝鮮の行動は、国際社会の平和と安全を脅かすものであり、強く非難します。